

【平成31年4月17日（改訂版）】

平成31年度

管理職研修の手引

島根県教育センター

目 次

| | | |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 管理職の育成指標 | 2 |
| 3 | 学校管理職等育成プログラムとの関連 | 3 |
| | （1）学校管理職等育成プログラム全体図 | |
| | （2）「学校マネジメント」に係る研修の概要 | |
| 4 | 年間研修計画（平成31年度） | 5 |
| 5 | 研修概要（平成31年度） | 6 |
| | （1）教育センター研修 | |
| | （2）管理職セレクト研修 | |
| | ①ねらい | |
| | ②対象となる研修 | |
| | ③実施の流れ | |
| | ④留意事項 | |
| | 〔参考〕教育センターホームページから入る報告画面のイメージ（記入例） | |
| | ⑤セレクト研修（教育センター等の研修）一覧 | |
| 6 | 実施上の留意事項 | 18 |
| | （1）教育センター研修の欠席や会場変更の取り扱い | |
| | （2）セレクト研修が受講できなかった場合の取り扱い | |
| | （3）名簿登載者、行政機関に勤務する者の参加について | |
| ■ | Q & A | 19 |

1 はじめに

「第 2 期しまね教育ビジョン 21（平成 26 年 7 月）」を受け、島根県教育委員会は「島根県公立学校教員人材育成基本方針」「学校管理職等育成プログラム」を策定しました。これは、社会の急激な変化に伴い高度化する諸課題や複雑化・多様化する教育課題、及び教職員の大量退職時代到来による偏った年齢構成に伴う課題への対応として、各学校で「学校マネジメント」を効果的に機能させるため、採用時からミドルリーダー、主幹教諭、副校長・教頭、校長まで段階的・系統的な教職員育成を示したものです。学校マネジメントとは「学校の有している能力・資源を活用し、学校に関与する人たちのニーズに適応させながら、学校教育目標を達成していく過程（活動）」であるとしています。管理職に求められる資質能力には、高い教育理念と広い識見、組織的な学校管理・運営、適正な評価・人材育成、外部との円滑な連携・折衝などが挙げられます。これらの資質能力は、PDCA サイクルを組織的に実践していくための「学校マネジメント」の能力を構成するものです。

平成 30 年 2 月に策定した「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」においては、今後管理職に求められる資質能力を次の 5 つに整理しました。これに伴い、平成 30 年 3 月に「学校管理職等育成プログラム」を策定し、管理職研修についても見直しを図りました。

- 1 高い教育理念と広い識見
- 2 学校経営
- 3 組織的な学校運営・管理
- 4 人材育成
- 5 外部との連携・折衝

これらの資質能力の向上には OJT（校内研修）と Off-JT（校外研修）、SD（自己啓発）の 3 つがバランスよく機能しなければなりません。Off-JT の重要な機会として、また、OJT の支援、SD の保障の視点で研修を実施していくこととなります。管理職研修の主な特徴として次の点が挙げられます。

- 学校マネジメントの内容を中心とした段階的な研修の実施
- 集合型研修の場合、校長は 2 年目まで、副校長・教頭は 3 年目までが対象
- 新任者と経験者を組み合わせた少人数グループによる「学校経営ゼミ」の実施
- 自己研鑽を図るため、自ら研修を選択する「管理職セレクト研修」の実施
- 学校段階間の系統性や円滑な接続を意識した研修の実施

この手引は、管理職研修を円滑に受講していただくために研修内容や手順を示したものです。手引に従って効果的に研修をすすめていただきますようお願いします。

2 管理職の育成指標

| 資質能力 | | 副校長・教頭 | 校長 |
|---------------|--------------------|---|--|
| 1 高い教育理念と広い識見 | ①人間理解・人権意識 | ・子どもの実態やその背景の理解に努めるとともに、管理職としての高い人権意識と特別支援教育への深い理解をもとに、一人一人の人権が大切にされる教育現場の実現に取り組むことができる。 | |
| | ②職務に対する誇りと責任 | ・管理職として必要な倫理観を持つとともに、教育に対する県民の期待を理解し、組織の責任者としてその職責や義務を自覚して職務に取り組むことができる。 | |
| | ③学び続ける意欲 | ・国や県、市町村の教育施策等を理解するとともに、常に教育に関わる情報、社会情勢、地域の実態等に関心を持ち、積極的かつ謙虚な姿勢で研究と修養に努めることができる。 | |
| 2 学校経営 | ④学校経営ビジョンの構築 | ・校長が示す学校経営ビジョンを分かりやすく教職員に伝え、教職員の共通理解のもと、組織をまとめ動かすことができる。 | ・長期的な視点に立ち、「魅力ある学校づくり」を目指した具体的な学校経営ビジョンを立てることができる。 |
| | ⑤リーダーシップ | ・学校経営ビジョンの実現に向けて、教職員の能力、適性が発揮されるよう、組織の主任等に適切に指示を出し、組織を活性化させることができる。 ・状況を的確に把握・分析するとともに、関係者等の意見を集約し、解決策の実現に向けて校長を補佐することができる。 | ・学校経営ビジョンや課題に応じて、校内組織の再編成や適正な人事配置を行い、組織を活性化させることができる。 ・状況を的確に把握・分析し、関係者等の意見を踏まえつつ、解決策の実現に向けて行動することができる。 |
| 3 学校管理・運営 | ⑥服務規律の確保・危機管理 | ・校長の指導助言のもと、教職員の服務規律を確保することができる。 ・学校事故への対応を予め想定し、備えるとともに、緊急時には組織的に対処することができるよう校長を補佐することができる。 | ・教職員の服務規律を確保することができる。 ・学校事故への対応を予め想定し、備えるとともに、緊急時には学校の責任者として組織的に対処することができるよう、すみやかに適切な判断を下すことができる。 |
| | ⑦事務管理 | ・教育活動の実施を適切に管理するとともに、予算執行、施設設備維持について、事務職員と連携して適切に処理することができる。 | ・教育活動の実施、予算執行、施設設備維持について、適切に管理することができる。 |
| 4 人材育成 | ⑧指導育成 | ・校長が示す育成方針のもと、必要な研修の機会を与えたり、校内での研修を効果的に進めたりすることができる。 | ・教職員一人一人の育成方針を策定し、長期的な視点に立って、指導育成を行うことができる。 |
| | ⑨適正な評価 | ・教職員一人一人を適正に評価し、面接や他の機会を捉えて課題を具体的に認識させることができる。 | ・教職員一人一人を適正に評価し、面接や他の機会を捉えて課題を認識させ、目指す方向を的確に示すことができる。 |
| 5 外部との連携・折衝 | ⑩保護者・地域・異校種との連携・協働 | ・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを的確に把握し、校長に報告するとともに、学校運営に活かすことができる。 ・学校段階間の系統性や円滑な接続を意識した教育活動を展開するため、組織の主任等に適切に指示を出したり、調整したりすることができる。 | ・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを捉え、学校経営に活かすことで魅力ある地域づくりに資することができる。 ・学校段階間の系統性や円滑な接続を意識した教育活動を展開することができる。 |
| | ⑪学校の説明責任・情報発信 | ・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、教育活動の成果や課題を校外に向けて具体的かつ詳細に説明することができる。 | ・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、学校経営ビジョンや教育活動の成果や課題を校外に向けて明確に発信することができる。 |

3 学校管理職等育成プログラムとの関連

(1) 学校管理職等育成プログラム全体図

| 管理職研修 | 新任者 | 経験者 | 中堅教員 | 主幹教諭 | | 副校長・教頭 | | | | 校長 | | |
|----------|-------|-----|------|------|-------|--------|-----|-----------------|-------|-----|-----------------|-----------|
| | | | | 1年目 | 2年目以降 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目以降 | 1年目 | 2年目 | 3年目以降 |
| 校長研修 | 3年目以降 | | | | | | | | | | | セレクト研修 |
| | 2年目 | | | | | | | | | | | セレクト研修 |
| | | | | | | | | | | | | 学経ゼミ2 |
| | 1年目 | | | | | | | | | | | セレクト研修 |
| | | | | | | | | | | | | 学経ゼミ2 |
| 共通 | | | | | | | | 小・中学校長学校経営実践研修 | | | | |
| 共通 | | | | | | | | | | | 小・中学校長学校経営実践研修 | |
| 副校長・教頭研修 | 4年目以降 | | | | | | | | | | | セレクト研修 |
| | 3年目 | | | | | | | | | | | セレクト研修 |
| | | | | | | | | | | | | 学経ゼミ1 |
| | 2年目 | | | | | | | | | | | セレクト研修 |
| | | | | | | | | | | | | 学校マネジメントⅢ |
| 1年目 | | | | | | | | | | | セレクト研修 | |
| 共通 | | | | | | | | 小・中学校教頭学校運営実践研修 | | | | |
| 共通 | | | | | | | | | | | 小・中学校教頭学校運営実践研修 | |

| 主幹教諭研修 | | 中堅教員 | 主幹教諭 | | | | | | |
|-------------|--|------|-------------|-------------|--|--|--|--|--|
| | | | 1年目 | 2年目以降 | | | | | |
| 2年目以降 | | | | 学校マネジメントⅠ-2 | | | | | |
| 1年目 | | | 学校マネジメントⅠ-1 | | | | | | |
| ミドルリーダー育成研修 | | 4日 | | | | | | | |

| 派遣研修 | 新任者 | 経験者 | 中堅教員 | 主幹教諭 | | 副校長・教頭 | | | | 校長 | | |
|---------------------|-------------------|-----|------|------|-------|--------|-----|-----|-------|-----|-----|--|
| | | | | 1年目 | 2年目以降 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目以降 | 1年目 | 2年目 | |
| 中央研修（教職員支援機構） | | | | | | | | | | | | |
| 島根県現職教員研修（島根大学教育学部） | | | | 4週間 | | | | | | | | |
| 島根大学教職大学院 | | | 2年間 | | | | | | | | | |
| 兵庫教育大学大学院 | | | 2年間 | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | |
| 能力開発研修 | ※学校マネジメントの内容を盛り込む | | | | | | | | | | | |
| 主任等研修 | | | | | | | | | | | | |
| テーマ研修 | | | | | | | | | | | | |
| 経験者研修 | | | | | | | | | | | | |
| 新任者研修 | | | | | | | | | | | | |

(2) 「学校マネジメント」に係る研修の概要

| 学校マネジメントⅠ～Ⅴに係る教育センター研修のねらいと研修項目 | | 研修項目（「育成指標」の資質・能力に対応） | | | | 外部との連携、折衝 |
|---------------------------------|------------------------|---|---|---|---------------------------------------|---------------------------------|
| 研修名 | 対象者 | ねらい | 高い教育理念と広い識見 | 学校経営 | 学校管理・運営 | |
| 学校マネジメントⅤ | 校長 2 年目 | ①学校経営の責任者として、教育目標達成のための方策などについて理解を深める。 ②教養者として、自己啓発と後進の育成に努める。 | ・人権教育 ・特別支援教育 ・生徒指導 | 組織マネジメント⑥ 国士舘大学 北神正行 | ウカサカメント⑥ 鳥根弁護士会 佐藤 力 メンタルヘルス | |
| 学校マネジメントⅣ | 副校長・ 教頭 3 年目 | ①学校経営の責任者として、教育目標達成のための方策などについて理解を深める。 ②教養者として、自己啓発に努める。 | | | ウカサカメント④ 大阪大学 小野田正利 | |
| 学校マネジメントⅢ | 副校長・ 教頭 2 年目 | ①学校経営方針・ビジョン策定や課題解決策の立案などを通して、学校経営者としての資質能力の向上を図る。 ②授業観察による授業改善、人材育成を図る。 | ・「管理職に期待すること」 元鳥根県教育長 藤原義光 | 組織マネジメント④ 兵庫教育大 浅野良一 | ウカサカメント③ 東京学芸大学 渡邊正樹 | 授業観察 |
| 学校マネジメントⅡ | 副校長・ 教頭 1 年目 | ①学校マネジメントについて、学校経営が円滑かつ充実したものとなるよう、教頭の果たす役割の理解を深める。 ②具体的な教頭の業務について、理解を深める。 | ・特別支援教育 ・人権教育 | 組織マネジメント③ 鳴門教育大 久我直人 学校評価 | ウカサカメント② 子ども安全支援室 室長 教育法規・服務 | 評価システム (年度当初面接、勤務評価) |
| 学校マネジメントⅠ-1,Ⅰ-2 | 主幹教諭 1 年目 2 年目以降 | ①学校マネジメントにおける、主幹教諭としての役割の理解を深める。 ②管理職の視点に立って、校内の教育活動の推進や人材育成を図る。 | ・教頭の職務の実際 ・教育行政について | 組織マネジメント② 鳥根大学 熊丸真太郎 カサハラカサカメント② | ウカサカメント① 実務、法規 | |
| ミドルリーダー育成研修 | ミドルリーダー教員 | ①学校マネジメントの重要性やミドルリーダーとしての役割を理解し、実践する。 ②管理職の視点から課題解決策や学校経営方針を策定する。 | ・鳥根が目指す教育 教育監（講話） ・特別支援教育 京都府舞鶴市教育委員会、 京都市教育委員会 （後野文雄） | 組織マネジメント① 鳥根大学 熊丸真太郎 カサハラカサカメント① （学校教育目標の具現化） 千葉大学 天笠 茂 | 生徒指導（危機管理） 神田外語大学 嶋崎政男 | コーチング① アニメイトエンタープライズ 野津浩嗣 |

【参考】

4 年間研修計画（平成31年度）

| | 校長 | | | 副校長・教頭 | | | |
|-----|---------------------------------|------------------------------|---|-------------------------------|------------------|----------------------------|---|
| | 新任 | 2年目 | 共通 | 新任 | 2年目 | 3年目 | 共通 |
| 4月 | | | 管理職セレクト研修（2回以上）*小・中・義務教育学校の校長は1回以上 小・中学校校長学校経営実践研修（6月） | | | | 管理職セレクト研修（2回以上）*小・中・義務教育学校の教頭は1回以上 小・中学校教頭学校運営実践研修（9月） |
| 5月 | 第1回（1日） 5/17 | | | 第1回（1日） 5/24 | | | |
| 6月 | | | | | 第1回（1日） 7/11 | | |
| 7月 | | | | 第2回（1日） 7/25 西部 7/26 東部 | | （1日） 7/25 西部 7/26 東部 | |
| 8月 | | | | | | | |
| 9月 | | | | | | | |
| 10月 | | | | | 第2回（1日） 10/11 | | |
| 11月 | 第2回（1日） 10/31 東部 11/ 1 西部 | （1日） 10/31 東部 11/ 1 西部 | | | | | |
| 12月 | | | | | | | |
| 1月 | | | | | | | |
| 2月 | | | | 第3回（1日） 1/17 | | | |
| 3月 | | | | | | | |

5 研修概要（平成31年度）

(1) 教育センター研修

| | |
|-------|---|
| 番 号 | 1118 |
| 研 修 名 | 管理職研修（新任校長） |
| 主 管 | 島根県教育センター（企画・研修スタッフ） |
| 目 的 | 新任校長として、豊かな人権感覚に支えられた校長としての資質・能力を一層向上させるとともに、学校マネジメントの手法について理解を深める。 |
| 対 象 | 市町村立小・中学校及び県立学校（松江市立女子高等学校を含む）の昇任1年目の校長 |
| 期日・会場 | 〈第1回〉 5月17日（金）〈1日〉 松江合同庁舎 〈第2回〉【東部】10月31日（木）〈1日〉 島根県教育センター 【西部】11月 1日（金）〈1日〉 浜田教育センター |
| 受講人数 | 【東部】30名（予定） 【西部】20名（予定） |
| 内 容 等 | 〈第1回〉 午前 ○人権教育 ○特別支援教育 午後 ○組織マネジメント⑤ ○振り返り 〈第2回〉 ○リスクマネジメント④「保護者対応」 ○学校経営ゼミ②〈2年目校長と合同〉 ○振り返り |
| 講 師 | 国士舘大学 教授 北神 正行（組織マネジメント⑤） 大阪大学大学院 教授 小野田正利（リスクマネジメント④） 県内先輩校長（学校経営ゼミ②） |
| 備 考 | 管理職セレクト研修、事務リーダー選択可能研修 |

| | |
|-------|---|
| 番 号 | 1119 |
| 研 修 名 | 管理職研修（2年目校長） |
| 主 管 | 島根県教育センター（企画・研修スタッフ） |
| 目 的 | 2年目の校長として、自校の教職員集団の現状分析をもとに、それを教職員のサポートや人材育成につなげる上での留意点を理解する。また、組織的な危機管理体制の在り方についてより一層理解を深める。 |
| 対 象 | 市町村立小・中学校及び県立学校（松江市立女子高等学校を含む）の昇任2年目の校長 |
| 期日・会場 | 【東部】10月31日（木）〈1日〉 島根県教育センター 【西部】11月 1日（金）〈1日〉 浜田教育センター |
| 受講人数 | 【東部】40名（予定） 【西部】30名（予定） |
| 内 容 等 | 午前 ○メンタルヘルス ○リスクマネジメント⑤「学校の法的リスク対応」 午後 ○学校経営ゼミ② 前半〈2年目校長のみ〉 後半〈新任校長と合同〉 ○振り返り |
| 講 師 | 佐藤力法律事務所 弁護士 佐藤 力（リスクマネジメント⑤） 県内先輩校長（学校経営ゼミ②） |
| 備 考 | 管理職セレクト研修、事務リーダー選択可能研修 |

| | |
|-------|---|
| 番 号 | 1181 |
| 研 修 名 | 小・中学校長学校経営実践研修 |
| 主 管 | 島根県教育センター（企画・研修スタッフ） |
| 目 的 | 幅広い分野におけるマネジメントの視点から自校の教育課題を見出し、具体的改善策の検討及び実践に資する。 |
| 対 象 | 市町村立小・中学校の校長 |
| 期日・会場 | 【浜田・益田管内】 6月27日（木）＜1日＞浜田教育センター 【松江・隠岐管内】 6月28日（金）＜1日＞テクノアークしまね （ソフトビジネスパーク島根 内） 【出雲管内】 6月28日（金）＜1日＞出雲商工会館 |
| 受講人数 | 【浜田・益田】 115名（予定） 【松江・隠岐】 88名（予定） 【出雲】 88名（予定） |
| 内 容 等 | ○講義・演習 「学校経営の視点から考える人権教育」 ○講義・演習 「服務規律の確保について」 ○講 義 「働き方改革について」 ○説明・協議 「『教職員の働き方改革プラン』と自校の取組について」 ○振り返り |
| 講 師 | 「先生の幸せ研究所」代表 澤田 真由美 |
| 備 考 | 管理職セレクト研修（県立学校管理職並びに小・中学校及び義務教育学校の教頭） 事務リーダー選択可能研修 |

| | |
|-------|--|
| 番 号 | 1201 |
| 研 修 名 | 小・中学校教頭学校運営実践研修 |
| 主 管 | 島根県教育センター（企画・研修スタッフ） |
| 目 的 | 校長の学校経営ビジョンの実現に向け、自校の課題を整理し組織の活性化に努める教頭の力量を高める。 |
| 対 象 | 市町村立小・中学校の教頭 |
| 期日・会場 | 【浜田・益田管内】 9月10日（火）＜1日＞ 浜田教育センター 【隠岐管内】 9月13日（金）＜1日＞ 隠岐合同庁舎 【出雲管内】 9月19日（木）＜1日＞ 出雲合同庁舎 【松江管内】 9月20日（金）＜1日＞ 松江合同庁舎 |
| 受講人数 | 【浜田・益田】 115名（予定） 【隠岐】 18名（予定） 【出雲】 90名（予定） 【松江】 72名（予定） |
| 内 容 等 | ○講義・演習 「学校運営の視点から考える人権教育」 ○講義・演習 「服務規律の確保について」 ○説明・演習 「『教職員の働き方改革プラン』が求めるもの ～日々の学校運営に反映させるために～」 ○協 議 「自校のこれまでの働き方改革に係る取組を振り返って」 ○振り返り |
| 講 師 | |
| 備 考 | 管理職セレクト研修（県立学校管理職並びに小・中学校及び義務教育学校の校長） 事務リーダー選択可能研修 |

| | |
|-------|--|
| 番 号 | 1120 |
| 研 修 名 | 管理職研修（新任副校長・新任教頭） |
| 主 管 | 島根県教育センター（企画・研修スタッフ） |
| 目 的 | ①学校組織マネジメントについて、学校経営が円滑かつ充実したものとなるよう、副校長・教頭の果たす役割を理解する。 ②具体的な副校長・教頭の実務について理解する。 |
| 対 象 | 市町村立小・中学校の昇任1年目の教頭及び県立学校（松江市立女子高等学校を含む）の昇任1年目の副校長・教頭 |
| 期日・会場 | 〈第1回〉5月24日（金）〈1日〉 松江合同庁舎 〈第2回〉【西部】7月25日（木）〈1日〉 浜田教育センター 【東 部】7月26日（金）〈1日〉 島根県教育センター 〈第3回〉1月17日（金）〈1日〉 松江合同庁舎 |
| 受講人数 | 【東部】50名（予定） 【西部】30名（予定） |
| 内 容 等 | 〈第1回〉○開講式・所長講話 ○教育法規・服務 ○リスクマネジメント② ○特別支援教育 ○人権教育 〈第2回〉○評価システム【演習】 ○学校評価 ○学校経営ゼミ①Ⅰ（新任教頭同士、3年目教頭と合同） 〈第3回〉○組織マネジメント③ ○学校経営ゼミ①Ⅱ ○振り返り |
| 講 師 | 鳴門教育大学 教授 久我 直人（組織マネジメント③） 島根大学教職大学院 特任教授 長 和博 他（学校経営ゼミ①Ⅰ・①Ⅱ） |
| 備 考 | 第2回は1122管理職研修（3年目副校長・3年目教頭）と同時開催 管理職セレクト研修、事務リーダー選択可能研修 |

| | |
|-------|--|
| 番 号 | 1121 |
| 研 修 名 | 管理職研修（2年目副校長・2年目教頭） |
| 主 管 | 島根県教育センター（企画・研修スタッフ） |
| 目 的 | ①学校組織マネジメントについて、学校経営が円滑かつ充実したものとなるよう、副校長・教頭の果たす役割の理解を深める。 ②授業観察による授業改善、危機管理についての理解を深める。 |
| 対 象 | 市町村立小・中学校の昇任2年目の教頭及び県立学校（松江市立女子高等学校を含む）の昇任2年目の副校長・教頭 |
| 期日・会場 | 〈第1回〉 7月11日（木）〈1日〉 島根県教育センター 〈第2回〉10月11日（金）〈1日〉 松江合同庁舎 |
| 受講人数 | 80名（予定） |
| 内 容 等 | 〈第1回〉 午前 ○組織マネジメント④ [学校経営目標策定] 午後 ○組織マネジメント④ [学校活性化と人材育成] ○振り返り 〈第2回〉 午前 ○リスクマネジメント③ [学校安全・危機管理] 午後 ○授業改善と校内人材育成 ○外部講師講話 ○振り返り |
| 講 師 | 〈第1回〉 兵庫教育大学 教授 浅野 良一（組織マネジメント④） 〈第2回〉 東京学芸大学 教授 渡邊 正樹（リスクマネジメント③） ふるさと島根定住財団 理事長 藤原 義光〔元教育長〕（外部講師講話） |
| 備 考 | 管理職セレクト研修、事務リーダー選択可能研修 |

| | |
|-------|---|
| 番 号 | 1122 |
| 研 修 名 | 管理職研修（3年目副校長・3年目教頭） |
| 主 管 | 島根県教育センター（企画・研修スタッフ） |
| 目 的 | ①学校組織マネジメントについて、学校経営が円滑かつ充実したものとなるよう、副校長・教頭の果たす役割の理解を深める。 ②外部との連携や保護者対応等についての理解を深める。 |
| 対 象 | 市町村立小・中学校の昇任3年目の教頭及び県立学校（松江市立女子高等学校を含む）昇任3年目の副校長・教頭 |
| 期日・会場 | 【西 部】7月25日（木）＜1日＞ 浜田教育センター 【東 部】7月26日（金）＜1日＞ 島根県教育センター |
| 受講人数 | 【東部】40名（予定） 【西部】40名（予定） |
| 内 容 等 | ○開講行事（各分科会場） ○外部との折衝・連携 ○学校経営ゼミ①I（3年目教頭同士、新任教頭と合同） ○振り返り |
| 講 師 | 【西 部】県内先輩校長 他（外部との折衝・連携、学校経営ゼミ①I） 【東 部】島根大学教職大学院 特任教授 長 和博 他 |
| 備 考 | 1120 管理職研修（新任副校長・新任教頭）＜第2回＞と同時開催 管理職セレクト研修 |

研修の詳細は、各校に送信する電子メールに添付の「実施要項」を参照すること。

なお、「実施要項」は、研修実施の3週間前までに教育センターホームページにも掲載する。

（2）管理職セレクト研修（以下、「セレクト研修」という）

①ねらい

自校や個々の課題に基づいて自ら研修を選択し、自己研鑽を図りながら学校経営に向けての知識や技能を身に付けるとともに、管理職としての使命感や意欲を高める。

②対象となる研修

この研修の主旨は、管理職として自分が必要とする研修に主体的に参加することである。

このことから、自ら申し込まないと参加できないような研修や講演会、研究発表会等をその対象としており、役員や指導・助言者として職務上参加・出席を求められたものは対象外とする。

島根県教育委員会が主催する教育センター等の研修でセレクト研修として示した研修（「管理職セレクト研修一覧」(P. 12～17) 参照) の他、対象として次のようなものが考えられる。

- 小・中学校の市郡教育研究会、県立学校の各種研究会が開催する研究会等
- 校長会や、教頭(・副校長協議)会が主催する研修(市町村、県、中国大会や全国大会を含む)等
- 各自治体や団体・事業所が開催する研修等
- 公的機関が主催する研修会・研究会
- 教育研究団体などが主催する研究大会や講演会
- 校内研修等で特別に企画した研修会や他校の研修会等への申し込みによる参加
- 自主的に企画した学校等の視察等

③実施の流れ

研修の計画・申込

- ・以下に示す校種別に、その内容に従い受講すること。
 - 県立学校長及び副校長・教頭(松江市立女子高等学校を含む)
 - 2回以上研修を選択すること。そのうち1回は次に示すいずれかの内容とすること。
 - 人権教育に関する研修
 - 特別支援教育に関する研修
 - 生徒指導に関する研修
 - 小・中・義務教育学校長及び教頭
 - すべての校長、教頭を対象とした研修を実施するため1回以上とする。
 - なお、この場合、「人権教育」「特別支援教育」「生徒指導」に関する研修に限定する必要はない。
 - ・教育センター等の研修で、セレクト研修として示した研修については、研修日の2週間前までに、所属校名・職・氏名、希望する研修名・研修番号・日時・会場を明記し(様式は問わない)、研修担当者(実施要項を参照すること)にFAXにて申し込むこと。受講の可否については、担当者より連絡する。
 - ・実施要項のホームページ掲載前に申し込みたい場合は、「管理職セレクト研修一覧」の申込先の代表FAX(P. 18)に申し込むこと。
 - ・申し込み先が異なる場合には、それぞれ別個に申し込むこと。
 - ・受講可能な人数枠を設けていることから、先着順とする。
 - ・教育センターホームページで、申し込み状況を確認することができる。

研修の受講

- ・年度初めから2月までの間に、計画的に受講すること。

研修の報告

- ・教育センターホームページ上で入力・送信すること(P. 11参照)。
 - トップページ「研修講座」>「管理職セレクト研修報告」
- ・所属校名・職・氏名、研修名、研修日時・会場、内容及び成果等を報告する。

- ・報告期間は、6 月から翌年 2 月末日までとする。
- ・県立学校長及び副校長・教頭にあつては、2 つの研修を一括して報告すること。（松江市立女子高等学校を含む）

④留意事項

- ・半日開催でも、2 日間開催でも 1 回とカウントすること。（時間の下限は設けない）
- ・研修の旅費は、「指定旅費」（小・中学校）、「学校管理運営費（指定研修分）」（県立学校）で対応すること。

【参考】教育センターホームページから入る報告画面のイメージ（記入例）

| | |
|--|--------------------------------|
| 所属校名 [必須] | 〇〇市立〇〇〇中学校 |
| 職名 [必須] | 校長 |
| 氏名 [必須] | 教育 太郎 |
| 研修 1 について | |
| 研修名 (1) [必須] | 2019 年度管理職研修（新任校長）組織マネジメント |
| 日時 (1) [必須] | 2019 年 5 月 17 日（金）13:00～16:00 |
| 会場 (1) [必須] | 松江合同庁舎 |
| 講師、内容、成果他 (1) [必須] | |
| <p>※注 ★ 改行する場合は、「Shift+Enter」キーを押してください。 スペースキーは改行に反映されません。 ★ できるだけ枠内に収まるように簡潔に記入してください。</p> | |
| 研修 2 について | |
| 研修名 (2) [必須] | 2019 年度管理職研修（2 年目校長）リスクマネジメント |
| 日時 (2) [必須] | 2019 年 10 月 31 日（木）10:40～12:00 |
| 会場 (2) [必須] | 島根県教育センター |
| 講師、内容、成果他 (2) [必須] | |
| | |

⑤ セレクト研修(教育センター等の研修)一覧

| 【研修番号】 研修名 | 期日*1 会場*2 | 対象時間*3 | 内容(講師) | *4 | 人数 枠 | 申込 先*5 |
|------------------------------|---------------------------|-----------------|--|----|---------|-----------|
| 【1118】 管理職研修 (新任校長) | 5/17 松合 | 9:10～ 10:30 | 人権教育(人権同和教育課) | ○ | 10 | 島セ 企研S |
| | | 10:40～ 12:00 | 特別支援教育 (特別支援教育課) | ○ | 10 | |
| | | 13:00～ 16:00 | 組織マネジメント (国士舘大学・北神正行) | | 10 | |
| | 10/31 島セ | 9:00～ 14:20 | リスクマネジメント (大阪大学・小野田正利) | | 10 | |
| | 11/ 1 浜セ | 9:00～ 14:20 | | | 10 | |
| 【1119】 管理職研修 (校長2年目) | 10/31 島セ | 9:10～ 10:30 | メンタルヘルス (県内養護教諭等) | | 10 | 島セ 企研S |
| | | 10:40～ 12:00 | リスクマネジメント (島根県弁護士会) | | 10 | |
| | 11/ 1 浜セ | 9:10～ 10:30 | メンタルヘルス (県内養護教諭等) | | 10 | |
| | | 10:40～ 12:00 | リスクマネジメント (島根県弁護士会) | | 10 | |
| 【1181】 小・中学校長 学校経営実践研修 | 6/27 浜セ | 9:00～ 10:30 | 講義・演習「学校経営の視点から考 える人権教育」(人権同和教育課) | ○ | 5 | 島セ 企研S |
| | | 10:40～ 12:00 | 講義・演習「服務規律の確保につ いて」(学校企画課) | | 5 | |
| | | 13:00～ 14:30 | 講義「働き方改革について」 (「先生の幸せ研究所」代表 澤田真由美) | | 5 | |
| | | 14:40～ 16:00 | 説明・協議「働き方改革プラン」 と自校の取組について | | 5 | |
| | 6/28 出商館 | 9:00～ 10:30 | 講義・演習「学校経営の視点から考 える人権教育」(人権同和教育課) | ○ | 5 | |
| | | 10:40～ 12:00 | 講義・演習「服務規律の確保につ いて」(学校企画課) | | 5 | |
| | | 13:00～ 14:30 | 講義「働き方改革について」 (「先生の幸せ研究所」代表 澤田真由美) | | 5 | |
| | | 14:40～ 16:00 | 説明・協議「働き方改革プラン」 と自校の取組について | | 5 | |
| | 6/28 テクノ アーキ しまね | 9:00～ 10:30 | 講義「働き方改革について」 (「先生の幸せ研究所」代表 澤田真由美) | | 5 | |
| | | 10:40～ 12:00 | 説明・協議「働き方改革プラン」 と自校の取組について | | 5 | |
| | | 13:00～ 14:30 | 講義・演習「学校経営の視点から考 える人権教育」(人権同和教育課) | ○ | 5 | |
| | | 14:40～ 16:00 | 講義・演習「服務規律の確保につ いて」(学校企画課) | | 5 | |

| | | | | | | |
|---------------------------------------|----------|-----------------|--------------------------------------|---|----|------------|
| 【1120】 管理職研修 (新任副校長・新任 教頭) | 5/24 松合 | 9:20～ 10:35 | 特別支援教育 (特別支援教育課) | ○ | 10 | 島セ 企研 S |
| | | 10:45～ 12:00 | リスクマネジメント (子ども安全支援室) | | 10 | |
| | | 13:00～ 14:10 | 教育法規・服務 (学校企画課) | | 10 | |
| | | 14:25～ 15:45 | 人権教育 (人権同和教育課) | ○ | 10 | |
| | 1/17 松合 | 9:00～ 12:00 | 組織マネジメント (鳴門教育大学・久我直人) | | 10 | |
| 【1121】 管理職研修 (2年目副校長・ 2年目教頭) | 7/11 島セ | 9:00～ 15:50 | 組織マネジメント (兵庫教育大学・浅野良一) | | 5 | 島セ 企研 S |
| | 10/11 松合 | 9:00～ 12:00 | リスクマネジメント (東京学芸大学・渡邊正樹) | | 10 | |
| | | 13:00～ 14:40 | 授業改善と校内人材育成 (島セ) | | 10 | |
| | | 14:50～ 15:50 | 講話 (ふるさと島根定住財団・ 藤原義光) | | 10 | |
| 【1122】 管理職研修 (3年目副校長・ 3年目教頭) | 7/25 浜セ | 9:10～ 12:00 | 外部との折衝・連携 (県内の先輩校長等) | | 5 | 島セ 企研 S |
| | 7/26 島セ | 9:10～ 12:00 | | | 5 | |
| 【1201】 小・中学校教頭 学校運営実践研修 | 9/10 浜セ | 9:00～ 10:30 | 講義・演習「学校運営の視点から 考える人権教育」(人権同和教育課) | ○ | 5 | 島セ 企研 S |
| | | 10:40～ 12:00 | 講義・演習「服務規律の確保に ついて」(学校企画課) | | 5 | |
| | | 13:00～ 14:30 | 説明・演習「『働き方改革プラン』 が求めるもの」 | | 5 | |
| | | 14:40～ 16:00 | 協議「自校の『働き方改革』の 取組の振り返り」 | | 5 | |
| | 9/13 隠合 | 9:00～ 10:30 | 講義・演習「学校運営の視点から 考える人権教育」(人権同和教育課) | ○ | 5 | |
| | | 10:40～ 12:00 | 講義・演習「服務規律の確保に ついて」(学校企画課) | | 5 | |
| | | 13:00～ 14:30 | 説明・演習「『働き方改革プラン』 が求めるもの」 | | 5 | |
| | | 14:40～ 16:00 | 協議「自校の『働き方改革』の 取組の振り返り」 | | 5 | |
| | 9/19 出合 | 9:00～ 10:30 | 講義・演習「学校運営の視点から 考える人権教育」(人権同和教育課) | ○ | 10 | |
| | | 10:40～ 12:00 | 講義・演習「服務規律の確保に ついて」(学校企画課) | | 10 | |
| | | 13:00～ 14:30 | 説明・演習「『働き方改革プラン』 が求めるもの」 | | 10 | |
| | | 14:40～ 16:00 | 協議「自校の『働き方改革』の 取組の振り返り」 | | 10 | |

| | | | | | | |
|--|-----------------------|---|--|---|----|------------|
| | | 9:00～ 10:30 | 講義・演習「学校運営の視点から考える人権教育」(人権同和教育課) | ○ | 10 | |
| | | 10:40～ 12:00 | 講義・演習「服務規律の確保について」(学校企画課) | | 10 | |
| | 9/20 松合 | 13:00～ 14:30 | 説明・演習「『働き方改革プラン』が求めるもの」 | | 10 | |
| | | 14:40～ 16:00 | 協議「自校の『働き方改革』の取組の振り返り」 | | 10 | |
| 【1123】 主幹教諭研修 (新任) | 7/5 島セ | 10:30～ 12:00 | リスクマネジメント (子ども安全支援室) | | 10 | 島セ 企研 S |
| 【1124】 主幹教諭研修 (2年目) | 7/5 島セ | 9:00～ 10:30 | 組織マネジメント (島根大学・熊丸真太郎) | | 5 | 島セ 企研 S |
| 【1186】 ミドルリーダー 育成研修 | 7/31 三瓶青少年 交流の家 | 14:00～ 17:00 | コーチング (株)アニメイトエンタープライズ・野津浩嗣) | | 10 | 島セ 企研 S |
| | 8/1 三瓶青少年 交流の家 | 8:50～ 11:50 | 特別支援教育の視点からの学校経営 (舞鶴市教育委員会 学校経営 アドバイザー・後野文雄) | ○ | 10 | |
| | | 12:50～ 15:30 | カリキュラム・マネジメント (千葉大学・天笠 茂) | | 10 | |
| | 8/2 三瓶青少年 交流の家 | 8:50～ 11:50 | 生徒指導・危機管理 (神田外語大学・嶋崎政男) | ○ | 10 | |
| 【959】 高等学校特別支 援教育推進研修 | 12/13 松合 | 10:00～ 12:00 午後も参加可能 (午後のみは不可) | 高校生段階における発達障害の特 徴と支援 (FR 教育臨床研究所・花輪敏男) | ○ | 30 | 特支課 |
| 【1107】 通級指導教室担 当教員等研修 | 10/2 松合 | 午後 | 通級による指導 (広島県廿日市教育委員会・ 山田充、特別支援教育課) | ○ | 10 | 特支課 |
| | 10/3 浜合 | 午前 | 通級による指導 (広島県廿日市教育委員会・ 山田充、特別支援教育課) | ○ | 10 | 特支課 |
| 【1170】 学校安全(災害 安全)研修 | 8/7 県会館 | 9:00～ 12:35 | 東日本大震災の教訓 (株)社会安全研究所・首藤由紀) | ○ | 20 | 子安室 |
| 【1171】 学校安全(生活 安全)研修 | 9/18 松合 | 13:00～ 16:35 | 「生活安全」の現状と課題 (大阪教育大学・藤田大輔) | ○ | 20 | 子安室 |
| | 9/19 浜合 | 9:00～ 12:35 | | ○ | 20 | |
| 【1217】 生徒指導実践講座 | 8/1 メッセ | 9:30～ 16:00 | 「学級集団づくりと 生徒指導の視点」 (愛媛大学・平松義樹) | ○ | 20 | 子安室 |
| | 8/2 浜合 | | | ○ | 20 | |
| 【1148】 小・中学校事務職 員事務主幹フォロー アップ研修 | 10/17 島セ | 10:40～ 12:00 | 人権教育をすすめるために | ○ | 5 | 島セ 企研 S |
| | 10/18 島セ | 9:00～ 10:20 | 特別支援教育について | ○ | 5 | |

| | | | | | | |
|---|---------------------|-----------------|--|---|----|-------------|
| 【963】 小・中学校事務職員 新任事務リーダー研修 | 5/17 松合 | 9:00～ 10:00 | 人権教育をすすめるために (人権同和教育課) | ○ | 10 | 島セ 企研 S |
| 【1115】 グローバル化に対 応した外国語教育 研修 (高等学校) | 7/31 島セ | 9:20～ 10:00 | 趣旨説明 (教育指導課) | | 10 | 指導課 学力 S |
| 【1116】 グローバル化に対 応した外国語教育 研修 (中学校) | 8/20 浜セ | 10:10～ 12:00 | 今、求められている英語教育 (教育指導課) | | 10 | 指導課 学力 S |
| 【1117】 グローバル化に対 応した外国語教育 研修 (小学校) | 8/20 浜セ | 10:10～ 12:00 | 今、求められている英語教育 (教育指導課) | | 10 | 指導課 学力 S |
| 【1144】 日本語指導が必要な 児童生徒教育研修 | 6/26 出合 | 10:10～ 12:00 | 島根県における日本語指導の現状 と課題等 (東京学芸大学・齋藤ひろみ) | | 10 | 指導課 学力 S |
| 【1176】 複式学級新任担当 者研修 | 5/22 島セ | 午後 | 複式教育の現状と複式教育の指導 法 | | 5 | 島セ 企研 S |
| | 5/31 隠合 又は 島前 | | | | 5 | |
| | 6/5 浜セ | | | | 5 | |
| 【1185】 保育教諭・幼稚園 教諭・保育士合同 研修 | 10/28 島セ | 午後 | 特別な配慮を必要とする子どもが 輝くクラス運営について (香川大学教育学部・松井剛太) | | 5 | 地教室 |
| | 10/28 浜セ | | | | 5 | |
| | 10/28 隠合 | | | | 5 | |
| 【1202】 幼児教育推進研修 | 8/21 出市館 | 午前 | 幼稚園教育要領等の趣旨を幼児 教育施設で実現していくために (名古屋学芸大学・津金美智子) | | 5 | 地教室 |
| 【1203】 幼小連携・接続研 修 | 7/25 出合 | 午後 | 幼小連携・接続を進めていくため に必要なこと | | 5 | 地教室 |
| | 7/26 益合 | | | | 5 | |
| | 7/30 浜合 | | | | 5 | |
| | 8/5 隠合 島前集 | | | | 5 | |
| 【1022】 学校と地域の連携 実践研修 | 8/5 出合 | 13:00～ 16:30 | 学校と地域との連携・協働を推進 していくための知識の習得と意欲 の向上 (社会教育課) | | 10 | 社教課 |
| | 8/9 浜セ | 13:00～ 16:30 | | | 10 | |
| 【1063】 特別活動講座 | 6/28 高津小 (益田) | 14:00～ 16:00 | 講義「特別活動の充実で子ども・ 学級・学校が変わる」 (國學院大學・杉田洋) | | 10 | 浜セ 研研 S |
| 【1187】 学校図書館活用教 育講座 | 8/23 松合 | 10:00～ 12:00 | 学校図書館を活用して、「主体 的・対話的で深い学び」の実現に 向けた授業改善を目指す (放送大学/関西大学・塩谷京子) | | 10 | 浜セ 研研 S |
| 【1207】 キャリア教育講座 | 7/3 島セ | 10:00～ 12:00 | 新学習指導要領とキャリア教育 (教育指導課) | | 10 | 浜セ 研研 S |

| | | | | | | |
|-----------------------------------|----------------------|-----------------|---|--|----|------------|
| 【1136】 小学校理科教育講座 | 7/23 島セ | 10:00～ 12:00 | 主体的な問題解決を実現し、資質・能力を育成する理科の授業づくり（島根県立大学・高橋泰道） | | 5 | 島セ 企研 S |
| 【113】 小学校算数科教育講座 | 10/9 津宮小 (江津) | 9:00～ 12:00 | 「数学的に考える資質・能力を育む話し合い活動」 (島根大学・下村 岳人) | | 5 | 島セ 企研 S |
| | 10/16 古江小 (松江) | 9:00～ 12:00 | 「数学的に考える資質・能力を育む話し合い活動」 (島根大学・下村 岳人) | | 5 | 島セ 企研 S |
| 【1205】 「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間」講座 | 6/6 島セ | 10:00～ 12:00 | 新学習指導要領で求められる探究的な授業づくりのポイント (兵庫県たつの市立新宮小学校・石堂 裕) | | 10 | 島セ 企研 S |
| 【887】 中・高等学校英語科教育講座 | 10/18 島セ | 10:00～ 12:00 | 新学習指導要領の趣旨とこれから求められる英語教育（敬愛大学・向後秀明） | | 5 | 島セ 研情 S |
| 【1137】 小学校音楽科教育講座 | 8/22 浜セ | 10:00～ 16:00 | 鍵盤ハーモニカで楽しく音楽表現を工夫しよう（妹尾美穂） | | 3 | 島セ 研情 S |
| 【781】 中・高等学校音楽科教育講座 | 6/27 島セ | 10:00～ 16:00 | 講義「音楽科の学習によって育成する資質・能力」 (文部科学省教科調査官・臼井 学) | | 3 | 島セ 研情 S |
| | 6/28 湖東中 | 9:30～ 12:00 | 研究授業と授業研究 (文部科学省教科調査官・臼井 学) | | 3 | 島セ 研情 S |
| 【255】 小学校国語科教育講座 | 9/13 島セ | 10:00～ 16:00 | 「話すこと・聞くこと」の力を育てる指導、授業づくりを探る (福山市立大学・森美智代) | | 10 | 島セ 企研 S |
| 【816】 中学校社会科、高等学校地歴科・公民科教育講座 | 9/13 島セ | 9:00～ 16:00 | 「主体的・対話的で深い学び」を促す地理歴史科の授業づくり (文部科学省教科調査官・藤野敦) | | 10 | 島セ 企研 S |
| 【1035】 小学校社会科教育講座 | 8/23 浜セ | 10:00～ 12:00 | 「社会的な見方・考え方」を働かせて思考力、判断力、表現力を育てる社会科授業づくり (文部科学省視学官・澤井陽介) | | 10 | 島セ 企研 S |
| 【535】 健康教育（学校保健）研修 | 6/27 松合 | 13:00～ 16:20 | 「健康教育（学校保健）の動向」 (保健体育課指導主事) | | 10 | 健推室 |
| | 6/28 出合 | 13:00～ 16:20 | 「依存症の現状と予防のために」 (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター精神科医師) | | 10 | |
| 【628】 養護教諭研修 | 8/19 浜セ | 13:00～ 16:50 | 「薬品管理」と「くすり教育」の考え方（文部科学省調査官） | | 10 | 健推室 |
| | 8/20 益合 | 13:00～ 16:50 | 健康教育指導者養成研修受講者による伝達 | | 10 | |

| | | | | | | | |
|---|------------------------|--------------------------------------|---|---|-------------------------------|------------|----------------|
| 【1189】 小学校プログラミング教育講座 | 10/9 島セ | 9:00～ 12:00 | 小学校プログラミング教育の趣旨 と具体的な内容についての講義・ 演習 (島セ指導主事) | | 10 申込時 午前・ 全日を 確認 | 島セ 研情 S | |
| | | 9:00～ 16:00 | | | 10/11 浜セ | | 9:00～ 12:00 |
| | 9:00～ 16:00 | 9:00～ 12:00 | | | | | |
| | 9:00～ 16:00 | | | | | | |
| 【912】 情報モラル講座 | 10/31 島セ | 13:00～ 16:00 | 情報モラル教育の基本的な考え方 と最新動向 (鳴門教育大学・藤村裕一) | | 10 | 島セ 研情 S | |
| 【1209】 教育情報セキュリティ講座 | 10/31 島セ | 9:00～ 12:00 | 教育情報セキュリティの基本的な 考え方と最新動向 (鳴門教育大学・藤村裕一) | | 10 | 島セ 研情 S | |
| 【1210】 ICTを活用した授業改善講座 (NHK for school) | 8/19 島セ | 9:00～ 12:00 9:00～ 16:00 | [午前] 講義: NHK for school の活用と新学習指導要領 [午後] 演習: NHK for school を活用した指導案の作成 (NHK が派遣する講師) | | 10 申込時 午前・ 全日を 確認 | 島セ 研情 S | |
| 【1208】 子どもの情報活用 能力育成講座 | 9/25 島セ | 9:00～ 12:00 9:00～ 16:00 | [午前] 講義: 新学習指導要領と 情報活用能力 [午後] 演習: 情報活用能力の 育成に向けて | | 10 申込時 午前・ 全日を 確認 | 島セ 研情 S | |
| 【862】 中学校技術教育講 座 | 7/4 県西部の中 学校 | 9:00～ 12:00 9:00～ 16:00 | [午前] 講義: 学習指導要領の 理解と公開授業のねらい [午後] 公開授業: 内容C (東京学芸大学・大谷 忠) | | 10 申込時 午前・ 全日を 確認 | 島セ 研情 S | |
| | 12/5 島セ 県東部の中 学校 | 9:00～ 12:00 9:00～ 16:00 | [午前] 講義: 学習指導要領の 理解と小学校プログラミング [午後] 公開授業: 内容D (島根県教育センター指導主事) | | 10 申込時 午前・ 全日を 確認 | | |
| 【921】 不登校の理解と支 援講座 | 6/28 松合 | 13:00～ 16:00 (9:50 からも 参加可) | 不登校児童生徒の内面・背景理解 と支援 (島根大学・岩宮恵子) | ○ | 15 | 島セ 教相 S | |
| 【1068】 児童理解と支援講 座 | 9/12 松合 | 9:50～ 16:00 | 児童の心理発達理解と支援 (昭和大学・副島賢和) | ○ | 15 | 島セ 教相 S | |
| 【1184】 学校図書館担当者 (司書教諭) 研修 | 8/1 島セ | 9:00～ 12:00 | 図書館の活用教育に関する講義 (帝京大学・鎌田和宏) ※8/1 隠合は遠隔研修システム | | 10 | 島セ 研情 S | |
| | 8/1 隠合 | 9:00～ 12:00 | | | 10 | | |
| | 8/2 浜セ | 9:00～ 12:00 | | | 10 | | |
| 【1094】 特別支援学級担任 3年目研修 | 7/24 浜セ | 9:00～ 12:00 | 特別支援学級の授業づくりにつ いて (江津市教育委員会特別支援教 育指導員・田中康夫) | ○ | 15 | 島セ 教相 S | |
| | 7/26 松合 | | | ○ | 15 | 島セ 教相 S | |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|------------------|-----------------|--|---|----|------------|
| 【1173】 特別支援学級スキルアップ研修 | 第 1 回 6/26 島セ | 10:00～ 12:00 | 特別支援学級における学級経営 (広島市教育委員会・堀川淳子) | ○ | 15 | 島セ 教相 S |
| | 第 3 回 1/22 浜セ | 10:00～ 12:00 | 保護者との関係 (島根大学教育学部・原広治) | ○ | 15 | 島セ 教相 S |
| | 第 3 回 1/24 島セ | 10:00～ 12:00 | 保護者との関係 (島根大学教育学部・原広治) | ○ | 15 | 島セ 教相 S |
| 【1042】 生徒理解と支援講座 | 10/24 松合 | 10:00～ 16:00 | 子どもの願いに寄り添うための 教師の基本姿勢 (大阪教育大学・竹田契一) | ○ | 20 | 島セ 教相 S |
| 【1215】 特別支援教育専門講座 | 10/11 松合 | 10:00～ 16:00 | 自閉スペクトラム症の理解 (鳥取大学地域学部・三木裕和) | ○ | 10 | 島セ 教相 S |
| 【1143】 特別支援学校・特別支援学級における授業づくり講座 | 6/6 浜セ | 9:00～ 16:00 | 特別支援学校・特別支援学級における各教科等を合わせた指導、自立活動等についての理解 | ○ | 80 | 浜セ 教相 S |
| 【1175】 アンケート調査を活用した学級集団づくり研修（応用編） | 9/26 松合 | 10:00～ 15:50 | アンケート QU の活用方法と具体的実践 (奈良教育大学大学院・粕谷貴志) | ○ | 10 | 子安室 |
| | 9/27 浜セ | | | ○ | 10 | |

記号の説明

*1,2,3 期日、会場、対象時間。変更が生じる場合があるため、島根県教育センターホームページに掲載する実施要項で必ず確認すること。

*2 会場名の略称

[島セ]…島根県教育センター [浜セ]…島根県教育センター浜田教育センター

[松合]…松江合同庁舎 [出合]…出雲合同庁舎 [益合]…益田合同庁舎 [隠合]…隠岐合同庁舎

[出商館]…出雲商工会館 [県会館]…県民会館 [メッセ]…くにびきメッセ

[出市館]…出雲市民会館 [島前集]…島前集合庁舎

*3 対象時間のうちの一部でも受講可能な研修講座があるので、実施要項で確認すること。

*4 人権教育、特別支援教育、生徒指導に関わる研修を「○」で示している。

*5 申込先の略称及びFAX番号

[特支課]…特別支援教育課 0852-22-6231

[指導課]…教育指導課

[学力S]…学力育成スタッフ [地教室]…地域教育推進室 いずれも0852-22-6026

[子安室]…子ども安全支援室 0852-22-6265

[健推室]…保健体育課健康づくり推進室 0852-22-6767

[社教課]…社会教育課 0852-22-6218

[島セ]…島根県教育センター

[企研 S]…企画・研修スタッフ 0852-22-5581 [研情 S]…研究・情報スタッフ 0852-22-5875

[教相 S]…教育相談スタッフ 0852-22-6761

[浜セ]…島根県教育センター浜田教育センター

[研研 S]…研究・研修スタッフ [教相 S]…教育相談スタッフ いずれも0855-23-5059

6 実施上の留意事項

(1) 教育センター研修の欠席や会場変更の取り扱い

・やむを得ない事情で教育センター研修を欠席（遅刻・早退）する場合には、一般の研修と同様にすみやかに「欠席（遅刻・早退）届」（様式第1号）を島根県教育センター所長に提出すること。

・当該年度に受講できなかった研修については、次年度等の再受講は課さない。

・複数会場で実施する研修に際して、やむを得ない事情で受講会場を変更する場合は、すみやかに「変更届」（様式第2号）を島根県教育センター所長に提出すること。

※「欠席（遅刻・早退）届」「変更届」については、教育センターホームページ（トップページ「研修講座」>「欠席届・変更届」）に掲載しているため、適宜ダウンロードすること。

(2) セレクト研修が受講できなかった場合の取り扱い

・セレクト研修のうち、やむを得ない事情で教育センター等の研修を欠席する場合には、一般の研修と同様に、すみやかに「欠席（遅刻・早退）届」（様式第1号）を島根県教育センター所長に提出すること。

(3) 名簿登載者、行政機関に勤務する者の参加について

・現に学校に勤務する新任から3年目までの副校長・教頭、並びに新任・2年目の校長に課す研修であるため、名簿登載者、行政機関に勤務する者の参加は要しない。

・指導主事等の行政機関に勤務する者は、名簿登載に関わらず、教育センター研修を聴講できるものと

する。

■ Q & A

1 研修全般について

Q 1. なぜ小・中・義務教育学校と高・特別支援学校が同じプログラムで行う必要があるのか？

☞ A 1 管理職の「育成指標」にもあるように、学校経営に必要な資質能力は、校種にとらわれることなく、すべての管理職が有するべきものという考えから、同じプログラムとしています。ただし、校種別の分科会やグループ協議を行うなど、具体的な内容や方法は校種別に対応します。

Q 2. 副校長・教頭4年目以降、校長3年目以降の研修はどのようになるのか？

☞ A 2 管理職に登用されること自体、他の教職員の手本となり、自己研修に真摯に向き合える資質能力の持ち主であるはずで、このことから、副校長・教頭4年目以降、校長3年目以降の豊富な経験を尊重し、主体的な自己研修をしていただくよう期待しています。

なお、すべての小・中・義務教育学校校長に対しては、学校経営実践研修を、また、すべての小・中・義務教育学校教頭に対しては、学校運営実践研修を実施します。

2 セレクト研修について

Q 3. セレクト研修として県外出張は行えないのか。また、その場合、旅費は支給されないのか？

☞ A 3 県内出張を想定していますが、近隣県へのお出張も考えられます。なお、旅費は「指定旅費」（小・中・義務教育学校）、「学校管理運営費（指定研修分）」（県立学校）で対応してください。

Q 4. 一覧表にない教育センター等研修を一般の申し込み方法で受講した場合、セレクト研修として認められるか？

☞ A 4 認められます。ただし、受講者と同じ扱いになりますので、全日程受講してもらうことになります。また、申込数が定員を越えた場合、受講者選定について優先されることもありません。

Q 5. セレクト研修の申し込み状況を確認する方法はないのか？

☞ A 5 教育センターホームページに申込状況を○（受付可能）、△（残りわずか）×（受付は終了しました）で掲載します。変更が生じるごとに更新しますので、随時確認してください。

3 学校経営ゼミについて

Q 6. 学校経営ゼミは、具体的にどのようなことをするのか？

☞ A 6 新任の管理職と経験を経た管理職（副校長・教頭は3年目、校長は2年目）による少人数グループにより協議を行います。自校のプレゼンテーションを通して、“自校を語る管理職”であることをめざします。新任の管理職は学校経営方針や実践計画を発表し、経験を経た管理職は学校経営など実践したことを発表するとともに、後輩へのアドバイスも行います。

なお、グループには管理職経験者等が付き、アドバイスや指導を行います。先輩管理職の実践を学ぶことによって、管理職としてのノウハウの継承を図ります。

Q 7. 学校経営ゼミに副校長・教頭2年目が対象となっていないのはなぜか？

☞ A 7 副校長・教頭2年目は学校経営の実践をしっかりと積み、3年目に、その経験をゼミの場で新任副校長・教頭に紹介したり助言したりすることをねらいとしています。

4 受講対象者について

Q 8. 管理職名簿登載者は受講対象者となるのか？

☞ A 8 対象とはなりません。学校現場での勤務に応じた研修となります。学校に配置されてからの年数に対応した研修を受講してください。

Q 9. 管理職の途中で、行政に異動し、また管理職に復帰した場合は管理職何年目になるのか？

☞ A 9 行政への異動などの年数は管理職経験年数にカウントしません。例えば、教頭に復帰したのが教頭経験通算3年目なら、副校長・教頭研修（3年目）を受講することになります。

なお、年度途中で管理職に異動した場合は状況に応じて別に定めます。